



みなさまへ

本年も、私どもの活動にご理解とご支援を賜りありがとうございました。
心から感謝申し上げます。

3年ぶりに地域の行事やイベントが、全面再開され、私どもも防犯パトロールや、小学校での安全セミナーなど通常の活動に戻りました。

振り返ってみると、この数年の社会の変化は目覚ましく、気がつけば大きく変わったと実感しています。
私たちの活動で見るまちの変化とは、ごみが増えたこと、危険運転の自転車、高齢者の迷惑行為、群れる少年の減少などが挙げられます。

群れる少年が減った理由は、小学生でも保有率90%と言われるスマホを使ったSNSの影響であり、公園や路上で少人数の外飲みが増え、集まる場所も「推し」待ちのライブハウス前など、単発的で特定しにくくなりました。SNSでは年齢の違う人とも接し、相手に合わせて言葉を選ぶようになり、概して大人に対する言葉遣いが良くなり、丁寧な敬語を使います。

まちの僅かな乱れに象徴されるように、20年ぶりに犯罪が増えました。

令和4年の刑法犯認知件数は、60万1,331件（前年比5.8%増）で、私たちに身近な自転車盗や路上での暴行・傷害などが、20万1,619件（前年比14.4%増）で、全体の認知件数を上げています。

オレオレ詐欺などの「特殊詐欺」は、認知件数が1万7,520件で、被害額は8年ぶりに増え361億円に達しました。

この現状に、国民の7割の人が、SNSで呼びかける「闇バイト」による事件の多発、強盗や殺人など凶悪犯罪、特殊詐欺、虐待の報道などを理由に、体感治安の悪化を挙げています。

先へ先へと進む社会や、溢れる情報に翻弄され、確かなことが見えにくい時代になりました。少し立ち止まり考えてみると、安全や安心の保障があってからこそその生活だと思えます。どんな犯罪の被害にも遭わないことだとも言えます。

犯罪が増え始めたからこそ、今、私たち一人ひとりが安全について関心を持ち、足元の安全を見直し、ルールやマナーを守る生活をして、「ゆでガエル」のように気がついたときには取返しがつかなくならないように、地道に心がけて参りましょう。

最近では、様々な防犯の対策がなされていますし、防犯の道具（物）と手間や工夫（人）の両方を有効に使えば、さらに犯罪が減ります。たとえばドアに補助錠をつけるとか、窓の鍵かけを徹底する、自転車は二重ロック、防犯ブザーは手に持つというように、ちょっとした手間を面倒がらずに行うことです。

ガーディアン・エンジェルスは、これからもまちに姿を見せ、皆様から頼られる存在をめざして活動に一層精進して参りますので、今後ともご指導賜りますようお願いいたします。

今年もお世話になりありがとうございました。

よいお年をお迎えください。

2023年12月吉日

小田啓二

